

よくわかる！／

病害虫防除 マニュアル なす編

そーだ、
にほんそーだに
そーだんしよう！



日本曹達株式会社

輪番防除による、定期的な防除が大切! なす 作りに、日曹製品がお役に立ちます。

[] RACコード

ハウスで使用するくん煙剤

土壌病害・ネコセンチュウには…

バスアミド[®] 微粒剤

使用時期／は種または定植21日前まで
使用回数／1回



適用病害虫名など	使用量	使用方法
青枯病	30kg/10a	所定量を 均一に散布後 土壌と混和
苗立枯病 (リソクトニア菌) 半身萎凋病 白絹病 ネコセンチュウ 一年生雑草	20~30kg /10a	

定植期の害虫には…

モスピラン[®] 粒剤 (4A)



適用害虫名	使用量	使用時期／使用回数	使用方法
コナジラミ類	0.5~1g/株	定植前日~定植当日 /1回	株元 散布
アブラムシ類	0.5g/株	定植時 /1回	植穴 土壌混和
ミナミキイロアザミウマ コガネムシ類幼虫	1g/株		

アベイル[®] 粒剤 (4A、28)



適用害虫名	使用量	使用時期／使用回数	使用方法
アブラムシ類 アザミウマ類 コナジラミ類	2g/株	育苗期後半 ~定植当日 /1回	株元散布

ベリマーク[®] SC (28)



適用害虫名	使用量		使用時期／使用回数	使用方法
	葉量	希釈水量		
アブラムシ類 アザミウマ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類 ネキリムシ類	400株 当り 25ml	400株当り 10~20ℓ (1株当り 25~50ml)	育苗期後半 ~定植当日 /1回	灌注
アブラムシ類		400株当り 20~200ℓ (1株当り 50~500ml)	定植直後	株元 灌注

カルホス[®] 粉剤 (1B)



適用害虫名	使用量	使用時期／使用回数	使用方法
ネキリムシ類	6kg /10a	は種時 または 植付時/2回	土壌表面散布 土壌混和処理

生育期の病害には…

適用病害名	製品名	希釈倍数 または使用量	使用時期／ 使用回数	その他の適用病害
灰色かび病	ミギワ10フロアブル(52)	1000倍	前日/3回	—
	ファンタジスタ顆粒水和剤(11)	2000~3000倍	前日/3回	うどんこ病、フザリウム立枯病、褐色円星病、褐色斑点病、褐紋病
	ブロードワン顆粒水和剤(1、9)	1500倍	前日/4回	菌核病
	ベルクートフロアブル(M7)*	2000倍	前日/3回	褐紋病
	フルピカフロアブル(9)	2000~3000倍	前日/4回	黒枯病
菌核病	カンタスドライフロアブル(7)	1000~1500倍	前日/3回	菌核病
	ミギワ10フロアブル(52)	1000倍	前日/3回	—
	ファンタジスタ顆粒水和剤(11)	2000~3000倍	前日/3回	うどんこ病、フザリウム立枯病、褐色円星病、褐色斑点病、褐紋病
	トップジンM水和剤(1)	1500~2000倍	前日/5回	灰色かび病
うどんこ病	ゲッター水和剤(10、1)	1000~1500倍	前日/5回	灰色かび病
	ミギワ10フロアブル(52)	1000倍	前日/3回	—
	パンチョTF顆粒水和剤(U6、3)	2000倍	前日/2回	—
	ベルクートフロアブル(M7)*	2000倍	前日/3回	褐紋病
すすかび病	フルピカフロアブル(9)*	2000~3000倍	前日/4回	黒枯病
	トリフミン水和剤(3)	3000~5000倍	前日/5回	—
	トリフミン水和剤(3)	3000倍	前日/5回	—
	ベルクートフロアブル(M7)*	2000倍	前日/3回	褐紋病
黒枯病	カンタスドライフロアブル(7)	1000~1500倍	前日/3回	菌核病
	ファンタジスタ顆粒水和剤(11)	2000倍	前日/3回	うどんこ病、フザリウム立枯病、褐色円星病、褐色斑点病、褐紋病
	トリフミンジェット(3)	50g/400m³	前日/5回	うどんこ病
	トップジンM水和剤(1)	1500~2000倍	前日/5回	灰色かび病
	ゲッター水和剤(10、1)	1500倍	前日/5回	—
	ダコニールジェット(M5)	20g/100m³	前日/4回	—
	ベルクートフロアブル(M7)*	2000倍	前日/3回	褐紋病
	ファンタジスタ顆粒水和剤(11)	2000~3000倍	前日/3回	うどんこ病、フザリウム立枯病、褐色円星病、褐色斑点病、褐紋病

※ 常温煙霧登録あり

土壌消毒 → 定植期 → 生育期 (本圖での散布) → 収穫期

TOPIC 1 その他の場面で役立つ製品

■前作が終わったら…

■農業資材等の消毒には…

ケミクロン[®] G

500倍での使用が効果的です。

キルパー[®]

使用量／40~60ℓ/10a
使用時期／前作の栽培終了後から残渣撤去まで
但し、は種または定植の15日前まで
使用目的／古株枯死、アザミウマ類蔓延防止、
フザリウム立枯病蔓延防止





TOPIC 2 マルハナバチに対する影響日数

種別	薬剤名	安全日数
殺菌剤	カンタスドライフロアブル	影響なし
	ゲッター水和剤	1日
	トップジンM水和剤	影響なし
	トリフミン水和剤	1日
	ハーモメイト水溶剤	影響なし
	パンチョTF顆粒水和剤	影響なし
	ピシロックフロアブル	影響なし
	ファンタジスタ顆粒水和剤	影響なし
	フルピカフロアブル	影響なし
	ベトファイター顆粒水和剤	影響なし
	ベルクートフロアブル	影響なし※1
	ベルクート水和剤	影響なし※2
	ミギワ10フロアブル	影響なし
殺虫剤 殺ダニ剤	アベイル粒剤	1日
	コテツフロアブル	9日
	ダニオーテフロアブル	影響なし
	ニッソラン水和剤	1日
	ピラニカEW	1日
くん煙剤	フェニックス顆粒水和剤	1日
	ベリマークSC	1日
	モスピラン顆粒水溶剤	1日
	モスピラン粒剤	1日
	ダコニールジェット	1日

マルハナバチ

※1：2000倍 ※2：3000~6000倍

生育期の害虫には…

適用害虫名	製品名	希釈倍数 または使用量	使用時期／ 使用回数	その他の適用害虫
アザミウマ類	コテツフロアブル(13) (ミナミキイロアザミウマ、ミカンキイロアザミウマ登録)	2000倍	前日/4回	ヨトウムシ、チャノホコリダニ テントウムシダマシ類
	モスピラン顆粒水溶剤(4A)	2000~4000倍	前日/3回	テントウムシダマシ類、コナカイガラムシ類
	モスピランジェット(4A) (ミナミキイロアザミウマ登録)	50g/400m³	前日/3回	—
ハダニ類	ダニオーテフロアブル(33)	2000倍	前日/2回	—
	コテツフロアブル(13)	2000倍	前日/4回	ヨトウムシ、チャノホコリダニ テントウムシダマシ類
	ピラニカEW(21A)	2000~3000倍	前日/1回	チャノホコリダニ(2000倍)
	ニッソラン水和剤(10A)	2000~3000倍	前日/2回	—
	マブリックジェット(3A)	50g/400m³	前日/2回	アブラムシ類
アブラムシ類	テルスタージェット(3A)	48g/400m³	前日/3回	ハスモンヨトウ
	モスピラン顆粒水溶剤(4A)	2000~4000倍	前日/3回	テントウムシダマシ類、コナカイガラムシ類
	スカウトフロアブル(3A)	1500~3000倍	前日/3回	—
コナジラミ類	モスピランジェット(4A)	50g/400m³	前日/3回	—
	モスピラン顆粒水溶剤(4A)	2000倍	前日/3回	テントウムシダマシ類(2000~4000倍)、 コナカイガラムシ類
ハスモンヨトウ オオタバコガ	コテツフロアブル(13)	2000倍	前日/4回	ヨトウムシ、チャノホコリダニ テントウムシダマシ類
	フェニックス顆粒水和剤(28)	2000~4000倍	前日/3回	アズキノメイガ(4000倍)

※ 常温煙霧登録あり

◎薬剤使用の際は、登録内容を確認の上、登録使用基準を遵守してください。 ◎本資料は、2025年4月現在の登録に基づいて作成しています。



なす病害虫図鑑

病害

【灰色かび病 *Botrytis cinerea*】

圃場に残った発病果上の病原菌や、地表面に菌核として残った病原菌が伝染源となり、次期作では、そこから胞子が飛散して伝染する。果実に灰色のかびを密生した病斑を生じる。



おしべの発病

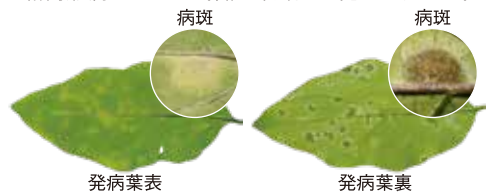
しぼんだ花弁の発病

発病果

適用薬剤 ミギワ10フロアブル、ブロードワン顆粒水和剤 など

【すすかび病 *Mycovellosiella nattrassii*】

圃場に落ちた発病葉上やハウスの骨組み・資材上で生き残った病原菌が伝染源となる。次期作では、そこから胞子が飛散して伝染する。葉裏にすす状の楕円形病斑を生じる。露地栽培では発生が少ない。



発病葉表

発病葉裏

適用薬剤 トリフミン水和剤、ベルコートフロアブル など

【菌核病 *Sclerotinia sclerotiorum*】

地表面に残った菌核が伝染源。次期作ではそこから胞子が飛散して伝染する。茎に水浸状の病斑を生じ、その後白色綿毛状のかびを生じ、そこに黒色のネズミ糞状の菌核を生じる。茎の病斑の上部は萎れる。



茎に水浸状の病斑が生じる

病斑部に白色綿毛状のかびを生じる

黒色のネズミ糞状の菌核を生じる

適用薬剤 トップジンM水和剤、ファンタジスタ顆粒水和剤 など

【半身萎凋病 *Verticillium dahliae*】

土壌中で、根や傷口から侵入して感染する。周囲には風雨により伝染する。株の半身の葉の萎れ、1枚の葉の片側の黄化など。夏の高温期に発病が一次休止し、秋口から再発病することが多い。青枯病と異なり、株全体が枯死することは少ない。



生育中期の発病株(葉の黄化が目立つ)

茎内に薄茶色に変色

発病葉

健全株
半身萎凋病株(薄茶色に変色)

適用薬剤 キルバー、バスアミド微粒剤

【うどんこ病 *Erysiphe cichoracearum*, *Leveillula taurica*, *Podosphaera xanthii fuliginea*】

ナスが周年栽培される地域では、次々に伝染が繰り返される。晩秋に子のう殻が形成され、翌年の伝染源となる。葉や果実にうどん粉状の病斑を生じる。やや乾燥した条件で発生しやすい。



発病葉(生育初期)

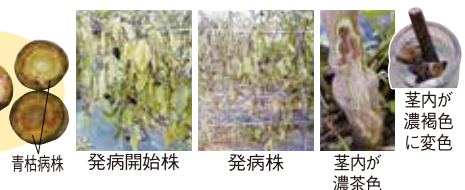
葉の病斑

発病果

適用薬剤 パンチョTF顆粒水和剤、ベルコートフロアブル など

【青枯病 *Ralstonia solanacearum*】

土壌に残った発病根内に病原細菌が長期間生存して伝染源となる。翌年に伸びた根の傷口から病原細菌が侵入して発病する。また、収穫時や剪定時の鉢の切り口からも伝染する。茎の導管が褐変し、地上部が数日で萎れ、回復しない。(青枯れ症状)



青枯病株

発病開始株

発病株

茎内に濃茶色に変色

適用薬剤 バスアミド微粒剤

害虫

【モモアカブラムシ *Myzus persicae*】

葉や果実からの吸汁により、生育が抑制。果実への寄生による品質低下を招き、えそモザイク病を媒介する。



体長2mm

有翅体長2.5mm

適用薬剤 モスピラン顆粒水溶剤 など

【ミナミキイロアザミウマ *Thrips palmi*】

幼虫及び成虫が果実及び葉を加害する。



被害葉拡大(葉裏、葉脈に沿った食害痕)(へたと果肉が食害)

適用薬剤 コテツフロアブル、モスピラン顆粒水溶剤 など

【オンシツコナジラミ *Trialeurodes vaporariorum*】

幼虫および成虫の葉からの吸汁により、生育が抑制。排泄物によって、すす病が発生する。



3齢幼虫(0.5mm)及び4齢幼虫(0.8mm)

成虫(全長1.5mm)

排泄物によるすす病

適用薬剤 モスピラン顆粒水溶剤

【カンザワハダニ *Tetranychus Kanzawai*】

加害により葉の表面に白点を生じ、増殖すると葉全体が黄化して、株の生育が抑制される。



第2若虫(体長0.4mm)、第1若虫

成虫(体長0.5mm)

被害葉裏

適用薬剤 ダニオーテフロアブル、コテツフロアブル など

【ハスモンヨトウ *Spodoptera litura*】

幼虫により、葉や果実が食害される(葉の食害が多い)。



老齢幼虫による被害果

雌成虫(前翅長20mm)

適用薬剤 フェニックス顆粒水和剤、コテツフロアブル

【オオタバコガ *Helicoverpa armigera*】

幼虫により、果実及び葉が食害される。



中齢幼虫(体長9mm)

幼虫による被害果

成虫(前翅長18mm)

適用薬剤 フェニックス顆粒水和剤、コテツフロアブル

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届くところには置かないでください。



日本曹達株式会社

〒100-7010 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号

お問合せ (03)4212-9655

(平日9~12時、13~17時、土日祝日を除く)



HPはこちら